

2004

9月

広報 つるが

平成16年8月10日発行



敦賀サマーフェスティバル2004
(7月16日～25日)



今月の内容

特集－敦賀港を見つめる－

水先案内人・・・2～5

8月29日(日)

敦賀市総合防災訓練を行います

IT講習会・・・8～9

街角スケッチ・・・10～11

おしらせ

No.751

r100 再生紙を使用
しています



福井県南振興局敦賀港湾事務所提供

敦賀港。古くから大陸との交流の表玄関として繁栄してきた敦賀の顔。現在も木材・石炭・鉱物類など工業用原材料の輸移入基地として、また北海道と直結するフェリー基地として発展しています。

そして、港にはいろいろな仕事があります。その中で、皆さんは「水先案内人」または「パイロット」と呼ばれる仕事をご存知でしょうか。港にはたくさんの船が入りしています。小さな船から数万トンという大きな船まで。そして日本船から外国船まで。その船の船長たちは、すべての港の特徴を知っているというわけではありません。知らない港で、どのようにして安全に大きな船を岸壁に着けるのでしょうか？

それは港に精通している水先案内人が船長に助言を行い、船を安全に着岸させているのです。敦賀港は、神戸港や横

特集—敦賀港を見つめる—

水先案内人



浜港のように、水先案内人の乗船が義務づけられている港ではありませんが、北陸電力(株)で使用している石炭、原子力発電所の使用済み核燃料を積む貨物船には必ず水先案内人の乗船が義務付けられています。

敦賀の水先案内人

敦賀にも水先案内人が2人います。1人は加藤 義一(82歳)さん。そしてもう1人は亀岡 潔さん(64歳)さん。今回、亀岡さんに同行して水先案内の仕事取材しました。

晴天。波が穏やかな朝。私たちは川崎岸壁からタグボートに乗り、常宮沖で待機している石炭を積み込んだ大型貨物船(船籍 ミヤンマー)へ向かいました。巨大な貨物船に近づくと、船の側面からタグボートへ縄ばしごが下ろされます。「乗り込むときは、全部縄ばしごですね。パイロットトラダーというんですけれど。特殊なものですから、



取材で乗船した大型貨物船

揺れないようにはなっていますけどね。今日は波がありませんが、高い波や強風の時は怖いですよ。タラップを壊してしまいますから使えませんし」と、亀岡さんは垂直につるされた縄ばしごで素早く船に乗り込んでいきます。

亀岡さんは早々に操だ室へ入ると、北陸電力・敦賀セメント共同岸壁へ着岸させるために望遠鏡でその方向を見ながら、無線を片手に船長やタグボートに指示をしていきます。「パイロットというのは、あくまでも船長の助けで

水深14mの岸壁へ

遠くに見えた岸壁がどんどんと近づいてきました。船の下を覗くと、私たちが乗ってきたタグボートともう1隻のタグボートが貨物船をゆっくり押しています。操だ室からデッキに出た亀岡さんは岸壁を見ながら突然、大きな声で船長に叫びました。穏やかだった操だ室に緊張が走り、船長が乗組員に指示を出していきます。「今、着けているところから約30mず

す。最終的な判断は船長が行います」と語る亀岡さんは、水先案内人になって9年。その前は外国航路の船長をしていました。「船には30年以上乗っていました。世界中、日本船なんかほとんど行かない港にも行きましたね。貨物船、主に自動車専用船に乗っていました。船長は10年くらいしましたかね」と船長時代の頃を話してくれました。



水先案内人について語る 亀岡さん

水先案内人になるには、総トン数3,000トン以上の船の船長歴が3年以上必要です。

そして、船内で指示をする言葉はすべて英語。今回取材で乗り込んだ貨物船の乗組員はミヤンマー人でしたが、もちろん亀岡さんは英語で話しています。どこの国の人であろうとすべて英語で話します。

れると(水深が浅いので海底に)船の底が当たってしまふんです。今回着岸した岸壁は、場所によって水深が違います。この船の喫水は12.72mなので、水深14mの場所に着させます。ちよつとずれるだけで、船が底に乗り上げてしまいます」と話す亀岡さんは慎重に



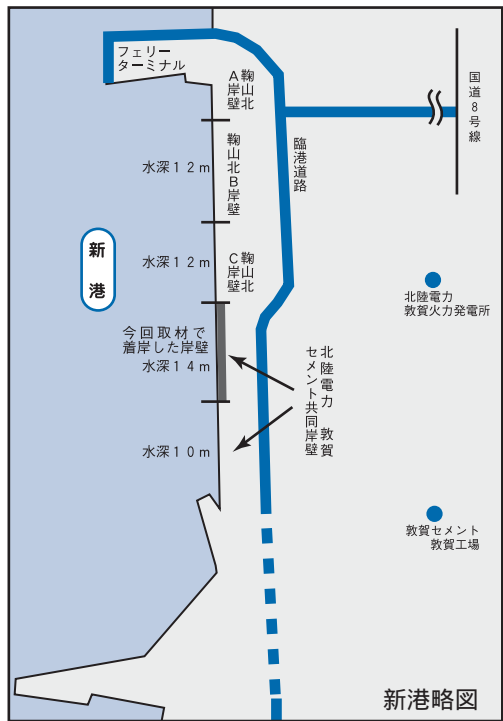
タグボート



接岸前



操だ室



天然の良港

亀岡さんは敦賀港のことを「こんないい港はないですからね。日本の港ですから、当然冬は厳しい気象状況になりますが、風の割にはうねりは小さく、私たちがパイロットは沖で乗下りますが、波が高くて乗下船できないことはまずありません。日本海側では、めずらしい天然の良港ですね。本当にめずらしい」と語ってくれました。

喫水 水面から船体最下部までの距離



もう一人の水先案内人であり、福井県水先人協会会長の加藤 義一さん（南条町在住 82歳）。加藤さんは、今から33年前の昭和46年に敦賀港の水先案内人になり、今も現役です。

敦賀港でのパイロット生活30年

思い出の数々...

敦賀にパイロットが！

船を降りると、会社に入るかパイロット（水先案内人）になるかで、僕はパイロットをやりたいと言ったんです。その時は、会社が新潟と和歌山のパイロットを推薦してくれたんです。ところが近くに敦賀があった。僕は、小さい時から敦賀にはよう遊びに行っていて、海水浴も行ったんだけど、敦賀のことを全然考えてませんでした。それは敦賀が水先区じゃないから、僕はパイロットがいることすら知らなかった。そしたら敦賀にパイロットがいるって言うし、びっくりしました。

30年間続けて...

平成13年には、「30年の永きにわたり敦賀港の水先人

として船舶交通の安全、敦賀港の振興発展に尽くされた」という感謝状を敦賀市から頂きました。僕は敦賀市民ではないのに（感謝状を）頂いて、非常にうれしかったです。

敦賀港で昭和46年から（パイロットを）しているけど、敦賀は福井県の中で一番発展しているね。新港になったでしょ。港も大きくなった。

いつ頃やったかな、北陸電力（株）の火力（発電所）が来て港が非常に活気ついたんです。火力（発電所）へ石炭をどんどん持ってくるようになってから大きな船が入ってくるようになったんです。

思い出

パイロットは、船長にアドバイスをする仕事なんです。命令ではないんです。だから、船長は聞かなくていいんですよ。実際に（船長が）聞かないというのもありましたよ。

今までで2、3回あるね。1回はね、船長が「時化てきて危ないから岸壁に着けるのをやめてくれ」と言うんで、「何ともない。ここは風が吹いても、港に入れば風ぐんやから。ここはそういうところやから」と言っても、「いや危ない、やめた」と言って（時化している時は沖で船を待機させるため）沖に行ってしまった。そして船長に「風ぐまでしばらく（船に）居てくれ」と言われて、困ったことがあった。

あとね、外国船の若い船長やったんやけど、岸壁に着ける時でも、（こちらの指示も聞かず）船長が「（船のスピードが）遅くてあかん。自分でやる」と言

って、船のスピードを落とさない。こっちが恐ろしいくらいでね。そしたら、ラインとフェンダに当たってね。でも、平気なんやもんね、船長。フェンダというのは船と岸壁を傷めんためにある。岸壁は傷んでない、船はペンキが剥けたけど、傷んでないと言っ。日本人とは考え方が違うね。

でもね、無事着岸してホッとした時にちょうど食事の時間になるんです。僕らの仕事は朝が早いんで、今はもうそうでもないけど、よくごちそうになったんですね。ロシア人の食事のスープはおいしいですね。本当においしい。「食べてけ、食べてけ」って。もう食べて行かんと怒られるくらいでね。僕は迎えを待たしてあるでしょ。

具合悪いんやけどね、急いで食べました。

仕事が済んで、楽になって、その後のごちそうはおいしいですね。今でもあのロシアのスープは思い出にありますね。

水先区 水先案内人が業務を提供する水域を水先区という。水先法に基づく政令により、外航船が多く出入りする港、湾、内海の水域に設定されている。フェンダ 船体を傷めないように、船の側面や岸壁に設けてある緩衝物。



自宅でアルバムを眺めながら水先案内人について話す加藤さん

敦賀港で積み荷を扱っている敦賀海陸運輸（株）の運輸本部営業部営業第二課の竹内 誠課長にこれからの敦賀港についてお話を伺いました。

最近の入港する船が大型化していますね。やはり大きな船で大量の貨物を動かす方が、コストが安くなりますから。

また、貿易形態も変わってきています。例えば、繊維などは生地を日本で作り、それを中国などへ輸出して加工し、大阪などに製品となって帰ってきます。機械とか技術などを提供し

新港に期待

船に荷を載せると、当然船は沈みます。大型船では、今の鞠山岸壁とかでは水深が浅いので底を擦ってしまっています。水深が14m以上ないと大型船は着けません。敦賀湾内は水深が50mぐら

て人件費の安いところで加工し、日本に帰ってきているんです。

新港ができると、

水深14mの岸壁ができるので、そこに大型船を着けることができます。そうすれば、たくさん荷を積んだ船が今よりもっと入港することができて、港はさらに活気づくと思います。



新港の整備について福井県嶺南振興局敦賀港湾事務所総務課の武長利延課長にお話を伺いました。

敦賀港の平成15年の貨物取扱量は、フェリー、コンテナ、RORO船等の定期航路就航等によりおよそ

1,650万トンとなり、10年前の約2倍と大きく伸びています。港の敷地が狭く岸壁に上げた荷



物をさばいたり保管したりする場所が少ないのです。そこで、現在整備中の鞠山南地区の多目的国際ターミナルができる大きな船が入る岸壁や相当の荷揚げ、保管場所が確保でき、港はさらに活気づくと期待しています。

現在、市・県や民間会社等で構成されている（株）敦賀貿易振興会では、敦賀港を利用してもらうよう中国、韓国等の対岸諸国や県内外の企業等へのポートセールスに力を入れています。

【ミニ知識】

水先案内人の歴史

水先案内人（パイロット）の歴史は古く、紀元前10世紀の古代フェニキアの海港タニアには、港内の水先案内人がいたと伝えられ、古代のギリシャにもやはり水先案内を業とする人々がいたという記録が残っています。

日本では江戸時代、関門海峡には「関落（せきおとし）」、「付船（つけぶね）」新潟には「水戸教（みとおしえ）」という水先案内人がいました。呼び名は変わりますが、未知の水域や困難な水域の航行にその地の専門家の知識を借りるという習慣は、安全航海のための知識として、海運の歴史同様古くから存在しました。

（株）日本船主協会ホームペー
「海運雑学セミナー」より抜粋

8月29日(日)

敦賀市総合防災訓練を

行います

訓練想定
震度6強の地震発生

敦賀市総合防災訓練を、粟野地区を対象に行います。この訓練は、防災関係機関・自主防災組織・地域住民が互いに連携して大地震を想定した実践的な訓練を行い、防災意識を高めることが目的です。

主な訓練内容

- 初期消火訓練
- 避難誘導・避難路確保訓練
- ビル救出・救助訓練
- 飲料水応急給水確保訓練
- 木造倒壊家屋救出・救助訓練
- 炊き出し訓練
- 仮設トイレ設置訓練
- 応急救護所開設訓練
- 救援物資配布訓練
- 緊急輸送道路確保訓練

会場 粟野中学校グラウンド
訓練時間 7時45分～12時(会場は9時30分～11時40分)



平成14年敦賀市総合防災訓練

7月18日に「福井豪雨」が発生しました

梅雨前線の影響で、局地的な大雨に見舞われた福井県北部では足羽川堤防の決壊をはじめ、市街地で冠水、土砂崩れや家屋全半壊など、5つの市町で大きな被害が出ました。市では20日から31日まで復旧のため市民ボランティア・企業ボランティアを募る一方、市職員を派遣しました。



7月20日敦賀市救援隊出発式



被害に遭った鯖江市河和田地区



家具等を運ぶボランティア

災害は、いつどのような形で発生するかわかりません。

いざという時に備えて、非常持ち出し品・備蓄品をチェックしましょう。

- 懐中電灯・非常食・水・携帯ラジオ・救急キット・靴下・軍手・下着・生理用品・トイレットペーパー・ウェットティッシュ・保険証・現金など、左の表を参考にチェックしてください。
- 家庭の実情に合わせて必要なものを付け加えましょう。
- 非常持ち出し品・備蓄品は袋(リュック)に詰め、入り口や窓のそばに保管しましょう。

ご家庭に配布されている「防災ハンドブック」をこの機会にぜひご覧ください。



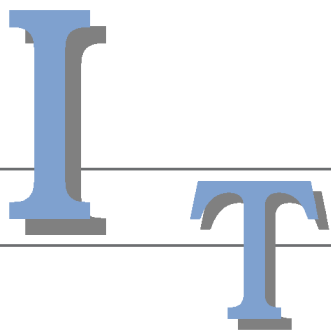
持ち出し品チェック表



9月1日は1923年(大正12年)に関東大震災が起きた日であり、この時季に多い台風への心構えの意も兼ね、1960年(昭和35年)に「防災の日」として制定されました。災害はいつ発生するかわかりません。いざという時の行動・避難場所や避難方法を日ごろから確認しておきましょう。

品名	有無
万能ナイフ	
懐中電灯(予備の乾電池)	
携帯ラジオ	
すべり止め付軍手	
ライター	
ひも・布ガムテープ	
レジャーシート・新聞紙	
フード付雨ガッパ	
カセットコンロ(燃料)	
布パケツ	
組食器	
裁縫道具	
ティッシュ(ウェットティッシュ)	
生理用品	
洗面用具・石けん・タオル	
肌着セット	
消毒液・傷薬	
湿布薬	
三角巾・包帯	
脱脂綿	
ばんそうこう	
胃腸薬	
かぜ薬	
常備薬	
水(1人1日3ℓ・2~3日分)	
レトルト食品・カップ麺	
乾パン	
缶詰	
梅干し	
衣類(綿製品か難燃素材)	
マスク	
靴下	
帽子	
毛布	
現金	
貯金通帳	
証書類	
印鑑	
保険証	
免許証	
クレジットカード・キャッシュカード等10円玉(20枚程度)	
緊急メモ(通帳番号・緊急連絡先等)	
家のスペアキー	
車のスペアキー	
粉ミルク	
紙オムツ	
乾電池	
給水袋	

パソコンで生涯学習はじめてみませんか！



講習会

受講生募集

【コース名の説明】

教室 = パソコン教室
 ゆったり = ゆったり初級コース
 初級 = 初級コース
 はがき = オリジナルはがき作成教室

【時間帯の説明】

午前 = 9:00 ~ 12:00
 午後 = 13:00 ~ 16:00
 夜 = 18:30 ~ 21:30

会場	コース名	コード番号	開催期間	曜日	講習時間	備考
図書館	教室	000101	10月5日~12月21日	毎週火	午前	11月23日・30日休み
	教室	000102	10月6日~12月22日	毎週水	夜	11月3日・12月8日休み
	教室	000103	10月7日~12月16日	毎週木	午前	12月2日休み
	教室	000104	1月11日~3月15日	毎週火	夜	
	ゆったり	000201	11月30日~12月4日	火~土	午前	
	初級	000301	12月7日~12月10日	火~金	夜	
	はがき	000401	11月27日	土	午前・午後	
西公民館	ゆったり	040201	10月5日~10月9日	火~土	午前	
栗野公民館	教室	080101	10月2日~12月4日	毎週土	午前	
	初級	080301	11月9日~11月12日	火~金	午後	

仕事帰りに

募集期間 各コースとも9月1日(水)~12日(日)(当日消印有効)
 受講料 無料(ただし、テキスト代が別途必要)
 対象 市内にお住まい、または通勤・通学している方
 応募方法 受講希望の方は、左ページのはがき記入例を参照の上、往復はがきで各会場へ応募してください。

応募者数が定員を超えた場合は、抽選となります。

会場	郵便番号	住所	問合せ
西公民館	914-0058	敦賀市三島町2丁目19-8	21-2700
栗野公民館	914-0132	" 御名53-19	22-0902
図書館	914-0047	" 東洋町1-1 生涯学習課あて	25-8318

郵便住所はがき

〒□□□□□□ □□□□□□

郵便番号

返信

お名前

ご住所

(往信の裏面)

- 住所
- 氏名(ふりがな)
- 年齢
- 性別
- 電話番号
- 希望するコースのコード番号

郵便住所はがき

〒□□□□□□ □□□□□□

郵便番号

往信

上の会場一覧より希望する会場名・住所・郵便番号を記入してください

(返信の裏面)

この方には記入しないでください

はがきの記入例
 青色の文字の部分を入力してください。
 記入もれのないようお願いします。

【ITスキルアップ講座】

WORD2000の中級講座を開催します。
 とき 9月29日(水)・30日(木)
 13時~17時
 ところ 図書館
 対象 県内にお住まいの方で、パソコンボランティアを目指す方、またはIT講習会を受講された方で、さらにWORDについて深く学びたい方

- 費用 無料(ただし、テキスト代が別に必要)
- 申込方法 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、申し込みください。
- 申込期限 9月10日(金)必着
- 申込者数が定員を超えた場合は、抽選となります。
- 問合せ・申込先
- 〒914-8501
- 敦賀市中央町2丁目1-1
- 情報管理課 IT推進室 宛
- ☎22-8114

コース名	パソコン教室		
内容	ウィンドウズ ワード エクセル Windows 98の基礎、Wordの基礎、Excelの基礎を具体的な日常の作業を通して、一連の流れとして習得、勉強をしていきます。 パソコンの操作・インターネット活用法・メールの有効利用(基礎) 案内状作成・パンフレット作成・体験記作成(ワード) 参加者名簿作成・出納帳作成・お礼状作成(エクセル)		
使用テキスト	IT基礎パソコン入門・Word2000・Excel2000		
テキスト代	5,200円(3冊分)		
講習時間	30時間(3時間×10回)		
定員	各会場20人(ただし、西公民館は10人) 個人または4人までのグループ単位での応募可		
コース名	ゆったり初級コース	初級コース	オリジナル はがき作成教室
対象	平成16年4月1日現在満60歳以上の初心者(まったくパソコンを触ったことのない方もOK)	初心者(まったくパソコンを触ったことのない方もOK)	文字入力ができる方 マウス操作ができる方
内容	パソコンとは? マウスの操作に慣れる 文書の作成 インターネットの使い方 電子メールの使い方	パソコンとは? マウスの操作に慣れる 文書の作成 インターネットの使い方 電子メールの使い方	Wordを利用 基本操作 はがきのデザインをしよう 年賀状をメールで送ろう
使用テキスト	IT基礎パソコン入門		オリジナルテキスト
テキスト代	1,000円		500円
講習時間	15時間	12時間	6時間
定員	各コースとも、1コースにつき20人(ただし、西公民館は10人)		

年賀状作りチャレンジ!

足田「舟川」の整備工事
完成記念式典
7月28日



敦賀と京都を結ぶ運河として江戸時代末期に利用された足田の「舟川」がこのほど整備され、その完成記念式典が行われました。舟底を滑らせるために川底に埋められた^{どうき}胴木が再現されているほか、周辺には水遊びのできるポケットパークや石畳の遊歩道、舟をかたどったベンチなども設置されています。

粟野駅へ絵画展示
7月13日



今年3月に改築した粟野駅の待合室に、吉田慧さん(岡山町2丁目)が1枚のパステル画を展示してくれました。吉田さんは、右半身が不自由になった昨年からは左手で描き始めたそうですが、今年の市美術展では市長賞を受賞した腕前です。展示された絵は、JR小浜線の沿線風景として三方湖の船小屋が描かれています。

ひまわり塾
7月23日



郷土の歴史などを学ぶひまわり塾が5回にわたり開催され、市内の小学生5・6年生46人が受講しました。第1回目は、あいあいプラザで「ビッグバンてなあに・・・空の向こうには何があるの?」という内容で宇宙についての学習が行われ、子どもたちは興味深く聞いていました。今後は黒河川や足田舟川など、現地での学習もあります。

あなたが写っていたら、ご連絡ください。写真を差し上げます。 広報広聴課 ☎22-8112

自衛消防隊操法大会
8月1日



第42回敦賀地区自衛消防隊操法大会が東洋紡績(株)Aグラウンドで行われました。各地区や事務所から73チーム、およそ500人が参加。この日は強風のため、放水した水が流されてしまうこともありましたが、隊員たちはきびきびと消火活動を行いました。応援席からは隊員たちの息の合った活動に大きな声援が送られました。

児童親善使節団結団式
7月15日



訪口

街角
イラスト

訪韓

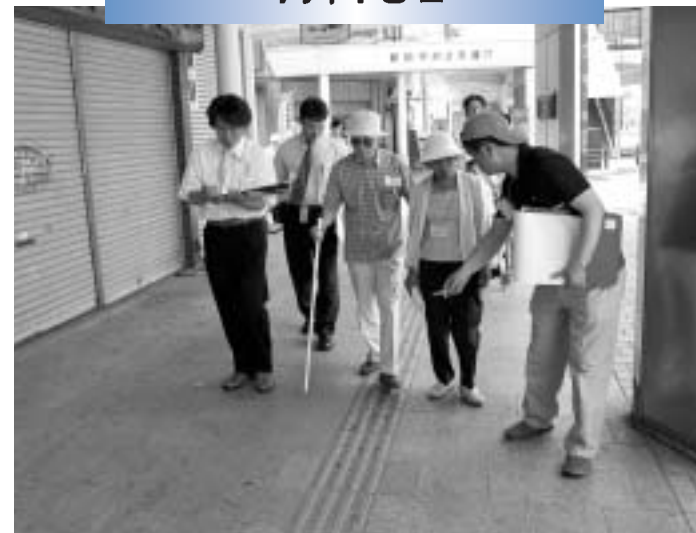


姉妹都市のロシア ナホトカ市へ16人、韓国 東海市へ17人、中国 台州市へ16人が児童親善使節団としてそれぞれ訪問します。また平成13年に姉妹都市盟約を締結した台州市への訪問は初めてです。児童たちは「たくさん友だちを作ってきます」「日本と違う文化を学んできます」など元気よく抱負を述べました。

訪中



まち歩き点検調査
7月13日



駅周辺のバリアフリー化を目指し、「まち歩き点検調査」が実施されました。身体障害者や高齢者およそ20人が3グループに分かれて実際に駅周辺を歩き、調査箇所ごとの問題点や要望する改善策をまとめました。屋外でこのような調査を行うのは初めてのことで、この調査の結果は、JR直営化に向けて市が今秋策定するバリアフリー基本構想に盛り込まれることになっています。

